平成３０年度 予算の概要

平成 30 年度当初予算を、「平成 30 年度資金収支予算書」および「平成 30 年度事業活動収支予算書」に示しております。

（１）資金収支予算書

収入は、学生生徒等納付金収入 12,582 百万円、補助金収入 4,390 百万円、医療収入 65,930 百万円等で、前年度繰越支払資金 21,473 百万円と合わせ収入の部合計は 127,066 百万円です。

支出の部は、人件費支出 42,359 百万円、医療経費支出 22,147 百万円を含む教育研究経費支出 36,054 百万円、管理経費支出 4,404 百万円、借入金等返済支出 1,481 百万円等となっております。

さらに、設備投資として施設関係支出 4,544 百万円、設備関係支出 7,749 百万円、合計 12,294 百万円を計上し、支出の部合計は 127,066 百万円となります。

設備投資の主な内容としては、

① 医学部　：メディアセンター及びシミュレーションラボ改修工事

② 大橋病院：新病院建設及び機器・備品

③ 習志野共通：中央道路整備工事

等があります。

（２）事業活動収支予算書

教育活動収支の部では、まず教育活動収入は、学生生徒等納付金 12,582 百万円、経常費等補助金 4,015 百万円、医療収入 65,930 百万円等で、合計 86,730 百万円となります。

一方、教育活動支出は、人件費が 42,721 百万円、医療経費 22,147 百万円を含む教育研究経費が 40,446 百万円、管理経費が 5,064 百万円等で、合計 88,250 百万円となります。

この結果、本業の収支状況を表わす教育活動収支差額は△1,520 百万円の赤字を予定しております。これに受取利息・配当金や借入金利息等の教育活動外収支差額△83 百万円を加え、企業会計の経常利益に当たる経常収支差額は△1,604 百万円の赤字となります。

特別収支の部では、特別収入が、施設・設備売却差額等で 5,167 百万円。特別支出は、施設・設備処分差額が 2,206 百万円となり、経常外の収支状況を表わす特別収支差額は 2,961 百万円の黒字を計画しております。

以上の収支差額から予備費 300 百万円を控除した基本金組入前当年度収支差額は 1,056 百万円の黒字となります。また、基本金組入後の当年度収支差額は 2,168 百万円の支出超過となる見込みです。

（注）上記説明文中の金額は、百万円未満を切捨てて表示しています。(加算、減算の場合は円単位で行った後、百万円未満を切捨てております。)